

平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月2日

上場取引所 東

上場会社名 マックスバリュ九州株式会社
 コード番号 3171 URL <http://www.mv-kyushu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐々木 勉
 (氏名) 赤木 正彦

TEL 092-433-1228

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	35,616	—	△14	—	△1	—	△63	—
26年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 △66百万円 (—%) 26年2月期第1四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	△8.45	—
26年2月期第1四半期	—	—

(注) 当社は平成26年2月期第2四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年2月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第1四半期	34,519	11,400	32.9	1,509.66
26年2月期	32,231	11,738	36.3	1,556.43

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 11,363百万円 26年2月期 11,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	38.00	38.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	72,500	—	978	—	979	—	550	—	73.06
通期	148,000	—	2,149	—	2,146	—	1,000	—	132.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成26年2月期第2四半期から連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	7,527,195 株	26年2月期	7,527,195 株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	37 株	26年2月期	37 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	7,527,158 株	26年2月期1Q	7,527,158 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は前第2四半期連結累計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営環境は、政府の経済対策により景気の緩やかな回復がみられるものの、4月に行われた消費税増税後の消費者の一層の低価格志向、少子高齢化によるマーケットの縮小、異業種の食品市場への参入拡大による厳しい価格競争等、当社グループ(当社および連結子会社)を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

当社グループはこのような経営環境の中、「九州のスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーへ」のスローガンのもと、既存店舗の活性化、また、更なる成長と熾烈な競争に打ち勝つ収益構造の改革に取り組んでまいりました。

成長の要となる新規店舗の開店は、当第1四半期連結累計期間にはありませんでしたが、既存店舗の活性化により売上高及び営業利益の向上を図るため、7店舗の改装を実施いたしました。

営業面におきましては、改装による商品構成の見直し及び4月度に1か月間にわたるWAONポイント増量セール等を実施し、消費税増税後の売上高拡大を図りました。また、商品面におきましては、お客さまのライフスタイルの変化に対応した冷凍食品等の簡便商材の展開拡大等の取り組みを実施いたしました。これらの取り組みにより買上点数及び来店客数のアップを図り、売上高及び売上総利益の拡大を図りました。

販売費及び一般管理費につきましては、電気料金の更なる値上げ及び消費税増税に伴う一時的な経費の発生がありました。店舗維持に係るメンテナンス費用等固定的なものを見直しによるコスト削減を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高35,616百万円、営業損失14百万円、経常損失1百万円、四半期純損失63百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,288百万円増加し、34,519百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末より2,439百万円増加し、12,940百万円となりました。主な要因は、当第1四半期連結会計期間末が金融機関休業日のため、現金及び預金が1,953百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末より151百万円減少し、21,579百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が店舗改装等により279百万円増加したこと及び減価償却費の計上により381百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2,626百万円増加し、23,119百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末より2,844百万円増加し、19,976百万円となりました。主な要因は、当第1四半期連結会計期間末が金融機関休業日のため、支払手形及び買掛金が未決済となったことにより3,070百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末より218百万円減少し、3,143百万円となりました。主な要因は、借入金が返済により125百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ338百万円減少し、11,400百万円となりました。主な要因は、四半期純損失63百万円の計上及び配当金の支払いによる利益剰余金286百万円の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
記載すべき事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,874	5,828
売掛金	1,281	1,703
たな卸資産	3,536	3,589
その他	1,808	1,818
流動資産合計	10,500	12,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,275	9,187
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	2,310	2,332
土地	2,960	2,960
その他(純額)	258	251
有形固定資産合計	14,804	14,732
無形固定資産		
のれん	439	433
その他	36	35
無形固定資産合計	476	469
投資その他の資産		
差入保証金	4,495	4,437
その他	1,954	1,940
投資その他の資産合計	6,449	6,377
固定資産合計	21,730	21,579
資産合計	32,231	34,519
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,815	13,885
短期借入金	130	300
1年内返済予定の長期借入金	750	720
未払法人税等	776	47
引当金	168	378
その他	4,491	4,644
流動負債合計	17,131	19,976
固定負債		
長期借入金	1,370	1,245
引当金	153	140
資産除去債務	656	659
その他	1,182	1,098
固定負債合計	3,361	3,143
負債合計	20,493	23,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	1,432	1,432
利益剰余金	8,563	8,213
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,583	11,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132	130
その他の包括利益累計額合計	132	130
新株予約権	22	36
純資産合計	11,738	11,400
負債純資産合計	32,231	34,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	35,616
売上原価	27,521
売上総利益	8,094
その他の営業収入	424
営業総利益	8,519
販売費及び一般管理費	8,533
営業損失(△)	△14
営業外収益	
受取利息	5
受取配当金	4
その他	10
営業外収益合計	20
営業外費用	
支払利息	5
その他	2
営業外費用合計	7
経常損失(△)	△1
特別損失	
固定資産除却損	4
特別損失合計	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△6
法人税、住民税及び事業税	31
法人税等調整額	26
法人税等合計	57
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△63
四半期純損失(△)	△63

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△63
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	△2
その他の包括利益合計	△2
四半期包括利益	△66
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△66

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品及び日用雑貨品を主に販売するスーパーマーケット事業及びその附随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。